

ずいぶん賢くなったようだ ChatGPTは



正岡 利朗
(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

昨シーズンはサイクリングの実走行距離が久々に1,000kmを超え、今シーズンはさらにその流れを加速するべく頑張っている当方ですが、日々のシビアな走行計画を立てるのに必要な天気予報がここまで当てにならないのかと嘆いている状況です。今回の話題は「ChatGPT」です。

ChatGPTは生成AIの一種で現在もっとも普及しているものですが、昨年度の担当授業「マーケティングリサーチ」において、受講学生が作成し実施したアンケートで、「レポート作成の際にChatGPTをどのぐらいの頻度で活用しているか?」という問いがありました。結果は「毎回使う」、「ほぼ毎回使う」が合わせて6割程度で、すでに日常的に使っている学生が多いようです。当方も2023年頃から年に数回はお試し程度にやりとりをしていたのですが、その頃は、自然な感じで話すのはよいが、「回答の出来は悪いなあ、まだまだ使えんな」などという感想でした。

しかし、この学生の利用率の高さに鑑み、改めて関心を深めてみたのです。そこで、4月からの授業開始前に、担当授業「統計学概論」でレポート出題する内容（「統計で騙されないためにはどのようなことに気をつけるべきか説明せよ」など）を、その出題文のまま入力（プロンプト）したのですが、驚いたことにその回答はほぼ満点に値する内容でした。このことにより、学生が生成AIを安易に使ってしまうと、当方の担当授業では「考える、表現するチカラの伸長」が達成できにくいことを痛感しました。そこで、そのことを学生に十分説明し、「生成AI使用を自粛」させて授業を進行している状況です。全国の各大学でも、各教員が「学生と生成AIとの付き合い方」をそれぞれ模索していることでしょう。

ChatGPTがこのように実用に耐え得るようになったことについては、2022年11月より無料提供が始まったGPT-3.5に加えて、2024年5月より、さらに高性能なGPT-4oの機能が（制限付きですが）無料で開放されたことが要因として大きいものと思われます。ChatGPTの回答のネタとなる「学習」は、Web上にある「テキストデータ」を収集して行っているとのことですが、これはChatGPTアプリ自身が自律的、逐次的に収集しているわけではなく、開発者（OpenAI）側が主導して行っています。そのために、GPT-4oでは2024年6月までのデータに依拠しており、それ以降に更新されたデータは反映されていません。つまり、毎回のユーザーとのやり取りも精度の向上に寄与したりはせず、ユーザーが使えば使うほどChatGPTが賢くなっていくわけでもないのです。

さて、これらのことを念頭に、当方が最近体験したChatGPTとのやりとりの実例を3つほど挙げてみます。まず、4月19日（土）に開催された日本計画行政学会中四国支部研究会でのことなのですが、同研究会では、高松商工会議所専務理事新池伸司様に「高松ウォーターフロントの再生～提言並びに提

言に至った経緯～」という講演をしていただきました。このような民間による青写真の作成は大いに意欲的であると判断して所見を披露していただいたわけですが、その中では「瀬戸内の海と魚のテーマパーク」の整備も盛り込まれていました。これ自体は高松にとって好ましいことではありますが、ただし、その前提として、瀬戸内海が「豊かな海」であることが必要です。しかし、現状では「魚が捕れなくなった」という悲鳴があちこちから聞こえてきています。そこで、それは真実なのか、その原因は何かなどについて、ChatGPTにお伺いを立ててみました。すると、漁獲量の減少データを示した上で、もっとも大きな原因は「貧栄養化（海がキレイになりすぎている）である」と断言しました。ただし、それを是正する方策は多岐にわたって示され、同テーマパークが機能するようになるためには、なかなか大変ですね。

続いて、「60代だが、現在週に2日程度、日を空けて60km程度のサイクリングをしている。目標は「2日連続で100kmのサイクリングができること」なのだが、これは可能なのか?どのぐらいの期間、努力すればできるようになるか?」と尋ねてみました。すると、「段階的なトレーニングを3~6ヶ月積み、ほとんどの方が無理なく達成可能」との回答です。さらに、こちらが「サイクリングだけをしているわけではないので、そんなに簡単にはできないと思うが」と入力すると、それでも前向きな回答が返ってきます。まるで出来の悪いカウンセラーやインストラクターにアドバイスを受けているようで、「ムリです」とはなかなか言ってくれませんね...

最後に、当方が香川県中小企業団体中央会機関誌の2025年4月号で「日常でも「現場力」を意識する」というタイトルで書かせていただいた際に、例として挙げたJR四国のある駅について、該当文面のまま入力して、該当する駅を推理させてみました。すると、文面内で提供された条件を吟味した上で出した回答は間違い、さらにヒントを小出しに与えて、回答を続行させたのですが、計6回間違えて、ついに正解に達しませんでした。鉄道マニアであるならば、鉄道、バス双方の時刻表や駅構内図を参照して正解を導くのはさほど困難な作業とは思われないのですが、えらく苦手としているのです。これは、Web上でもPDF形式で与えられていることが多い各社や自治体の時刻表をそもそも学習できていないことが原因のようです。

さらに、現時点のモデルでは「動画、画像、音声データ」はいずれも学習できておらず、これらの読解については今後登場する「マルチモーダルAI」により徐々に実現可能になるようです。つまり、今は、これらを統合的にソースとして扱える人間の方に軍配が上がるわけですが、果たして逆転はあるのでしょうか。すでに「トモダチ」としては、多くのヒトに対して十分な役目を果たしているようですが...

中央会だより 1

令和7年度通常総会を開催

本会は6月17日、高松国際ホテル（高松市）において会員組合等の代表者ら約70名並びに来賓多数のご出席のもと、令和7年度通常総会を開催しました。

提出議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 令和6年度事業報告書並びに決算書承認の件（原案通り承認）
 第2号議案 令和7年度事業計画（案）並びに収支予算書（案）承認の件（原案通り承認）
 第3号議案 令和7年度会費承認の件（原案通り承認）
 第4号議案 令和7年度借入金残高最高限度額承認の件（原案通り承認）
 第5号議案 役員の一部辞任に伴う選任の件（下記のとおり選任）

役職名	氏 名	所属組合名
理 事	若葉 精志	赤帽香川県軽自動車運送協同組合
//	三好 康治	庵治石開発協同組合
//	須佐美 裕一	小豆島手延素麺協同組合
//	香川 隆昭	本場さぬきうどん協同組合
//	太田 武志	中央会青年部会長

議案審議終了後、古川会長より「わが国の経済は、大企業を中心に設備投資の増加による生産性の向上やインバウンド需要の拡大等が続き、緩やかに持ち直してはいるものの、中小企業においては、深刻な人手不足、また、原材料やエネルギー価格の高騰などに価格転嫁が追いつかず、企業収益が圧迫され、極めて厳しい経営環境に置かれている。さらには、米国のトランプ政権による相互関税政策等により、株価や円相場が不安定な状況となっており、今後、輸出産業を中心とした企業の生産活動への悪影響が危惧されるとともに、地域経済全体への影響も懸念されている。このような中、共同の力で経営課題の解決に取り組む、組合を始めとする連携組織の役割は、ますます重要度を増している。中央会では組合等への支援を通じて、様々な施策を積極的に実施し、県内中小企業の振興・発展のために尽力していきたい」と挨拶されました。

続いて来賓を代表して、香川県議会議長・谷久浩一様、四国経済産業局地域経済部次長・渡部修治様より祝辞をいただきました。

会場を移動して開催した懇親会では、商工組合中央金庫高松支店長・川上健太郎様の乾杯の発声の後、香川県知事・池田豊人様より来賓代表の祝辞をいただくなど、終始和やかな雰囲気のもと会員等の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



▲挨拶をする古川会長



▲総会会場



▲懇親会の様子

中央会だより 2

香川県知事へ表敬訪問 — 外国人材活用のための連携について —

6月11日、本会の古川康造会長、増田浩外国人技能実習生受入組合連絡協議会会長が、池田豊人香川県知事を表敬訪問しました。

古川会長は、中央会の活動内容を説明する中で、近年は監理団体組合の運営並びに制度に関する相談が目立っていることに触れ、組合は技能実習生受入れの要であることを説明。4月に就任した増田協議会会長とともに技能実習生を始めとする外国人材の活用についての意見交換を行いました。



▲古川会長・池田香川県知事・増田協議会会長(左から)

中央会だより 3

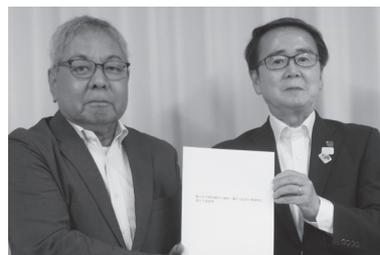
雇用機会の確保・働き方改革の推進等に関する協力要請

6月13日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、雇用機会の確保・働き方改革の推進等に関する協力要請が行われました。

要請は、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し、地域経済の持続的発展に向けた雇用対策を推進するためのもので、主な内容は以下のとおりです。

会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきま
すようご協力をお願いいたします。

- (1) 魅力ある雇用機会の確保について
- (2) 働き方改革の推進について
- (3) 多様な人材の活躍促進と環境整備について
- (4) 人材の育成・活性化について



▲池田香川県知事より要請書を受け取る古川会長(左)

会員ニュース

「庵治ストーンフェア2025」を開催

協同組合庵治石振興会

6月6日、7日の2日間、サンメッセ香川（高松市）において、協同組合庵治石振興会主催「庵治ストーンフェア2025」が開催されました。今回のテーマは「STONE EXPO —ようこそ、庵治産地へ—」。高松市庵治・牟礼地区を中心に石材業者、加工メーカーなど99社が参加しました。

また、今回初めて香川県漆器工業協同組合から国の伝統工芸品に指定されている「香川漆器」の出展がありました。

会場内では匠の技を駆使した墓石や灯籠、石彫品等の庵治石製品の展示販売の他、石材を使った子ども向けのワークショップやアームレスリング大会、庵治の大丁場採石場見学ツアーなど多彩な催しが行われ、盛況の内に終了しました。



▲上野理事長より開会挨拶



▲会場の様子



▲香川漆器出展の様子

引き続き、堅調なインバウンド需要に支えられていること、
また、価格転嫁が徐々に進行し、コストの上昇についても
落ち着きを見せているため、主要3指標で上昇が見られた。

2025年5月

製 造 業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●米の輸入拡大に期待している。(惣菜) ●5月下旬に県産小麦「さめきの夢」の収穫が始まる。収穫を控えて雨模様の天気が増え、品質低下が心配されるが、「平年並」の収穫量を予想している。昨年は必要量の6割程度しか確保できず、令和7年産に期待するところが大きい。(製粉製麺) ●4月以降、国産米を原料に使用している販売会社は、いまだに令和7年産の米価格が決まらない状態である。トランプ関税で輸入米や大豆の価格が安くなることを願っている。(味噌) ●日本冷凍食品協会による3月の冷凍食品生産数量は昨対91.9%となり前年を大きく下回った。カテゴリー別にはフライ揚げ物類が93.6%、フライ類以外の調理食品が89.6%、菓子類が97.6%となり、全カテゴリーで前年を下回った。業態別では市販用は89.6%、業務用が96.0%となり、市販用が大きく下落した。直近で備蓄米が販売開始され、一時的に米の価格が下がっている。しかし、昨年から続く米の高騰と冷凍食品の値上げにより、数量そのものは下落傾向にある。今年の米の価格の動向に注目していきたい。(冷凍食品)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●4月末に大阪・関西万博の香川催事に出席した後の5月が終了したが、万博の影響は商売面では殆ど感じられず仕舞いである。7月末には万博のローカルジャパン展に手袋作りの実演で参加するが、もう少し踏み込む何かが必要かもしれない。8月の1ヶ月間行われる瀬戸内国際芸術祭や、9月以降の動き方についても、東かがわに集客をもたらすきっかけづくりに貢献するべく自治体と一体となって活動を進めていく。商況面ではいい話は聞かれず、手袋産業にとってはまだ好転とはいかないまま6月に突入する。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●物価高、米高、資材価格高止まりが続く中、4月から7月で、多くの資材が10%から35%値上げされる。特に商談を終え価格が決まっている商品については今期は価格転嫁ができず、収益悪化は回避できない状態である。(家具) ●国産の原木不足により製品の生産量が落ち、供給量も減少している。需要も少ないため慌てた様子は見られないが厳しい状況である。建物の構造部分への無垢材使用が激減し、集成材・LVL等に変ってきている。(製材) ●諸物価が高騰したまま元には戻らず高いところで推移しているため新設住宅着工戸数の減少やその他諸々悪循環で業況は変わらず低い水準で推移している。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●5月は4月よりは仕事の動きが出てきている。夏の時期は例年閑散期になるので、7月までにある程度動きが続くことを期待する。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●組合員の受注格差が大きくなっている。受注増の事業所は人員不足にまでなっているが、受注低下の事業所は雇用削減を行っている。産地内での雇用人員の流動も発生している。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●期が変わり一時見合わせていた仕事に動きが見られる。ただ、自動車関係や輸出に関わる設備向けの仕事はかなり見通しが悪くなってきている。(鉄鋼) ●昨年の全国鉄骨需要量は、366万トンと前年6.5%ダウンとなったが、香川県内においても27.3トン前年比5.8%減となり厳しい状況となった。本年度も、その傾向は続き厳しい状況が続いている。また、そのような環境の中、価格競争が激化し価格が下降傾向となっており更なる情報共有が必要と思われる。尚、今後の見通しも不透明な状況が続くと思われる。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●親会社(川崎重工業)は水素社会実現に向けて動いている。(造船)
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●製品販売の得意先がなくなり、販売店を持たない組合員は非常に厳しくなっている。組合としてはサンメッセ香川で6月6日、7日の2日間「庵治ストーンフェア」において出展する。(漆器) ●特に変化はなく、依然として低空飛行の状態である。(綿寝具) 	
非 製 造 業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴールデンウィーク、瀬戸内国際芸術祭などで人の動きはあったものの米の価格の問題等で消費の落ち込みは否めない。(青果物) ●ガソリン等の燃料油価格定額引き下げの措置が5月22日から開始され、販売価格は下がった。しかし、その実状は安売り業者の価格に引張られる形で販売していることになっており、多くの組合員は補助金が入る前の高い単価の仕入分を安く販売していた。よって収益は悪化している。組合としては、卸価格及び適切な供給に要する費用を反映した適正価格での販売を行うよう働きかけていく。(石油) ●2027年にエアコンの省エネ基準が高くなり、基準に合格しない低価格品が作れなくなる。今年は年初めからエアコンが売れており、その影響も多少あるのかと思っている。その他に、LED電球も今後の売れ筋商品である。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年3月にJR高松駅に商業施設がオープンし、盛況であったことから、当時は商店街の売上を一部吸引されているとの懸念を持っていたが、本年の商店街の売上を見る限り、当時そのようなことは一部の店舗(お土産の菓子店等)のみであり、昨年5月でもまだ商業施設から商店街への回遊客は多く、数字にも結びついていったと思われる。本年はその反動減(商業施設の広域集客が落ち着いた)と相変わらず続く物価高騰で、一部消費は厳しくなっており、大きく数字は落ち込んだ。ただ一方で、変わらず、高額品需要は続いており、時計、宝飾、ハンドバッグ、化粧品は好調を維持、売上全体の下支えになっている。また、サービス系(エステ、美容クリニック等)は堅調な推移が続いている。海外からのクルーズ船の到着も増えていることから、インバウンド客の数は増え続けているのは間違いないが、1年前と比べても為替が1割ほど円高になっていることなどから、昨秋位から目に見えてインバウンドの客単価や購入数の下落が進んでおり、現状の売上金額は頭打ちの状況である。本年3月・4月と毎週末県立アリーナで大きなイベントが開催され、それぞれに多くの泊まりを含む来高客があり、週末ごとに商店街にその来高した比較的若い客層で賑わいを見せており、飲食店を中心に売上に貢献してくれているが、5月に入っては県立アリーナのイベントも地元客対象のものが増え、商店街への回遊や消費は増えていない傾向にある。今のところ、本年は大きな災害や天候不順が無いことから、季節感を持った消費の動きに期待しているが、外交や政局の不安定さが消費の重しとならないことを祈っている。(高松市①)

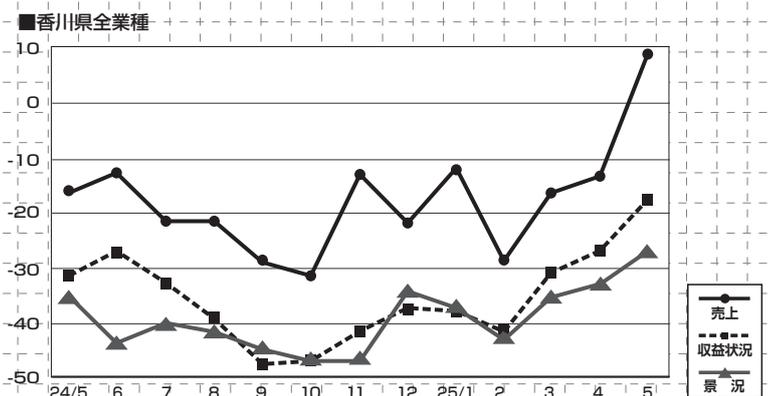
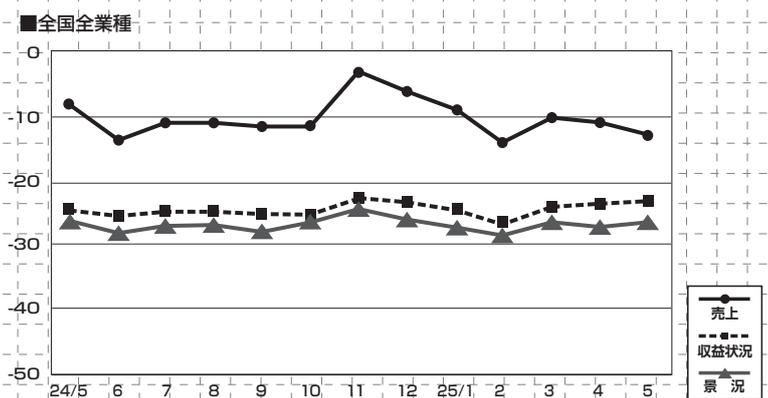
5月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は8.3ポイントで前月調査の-12.5ポイントから20.8ポイントの改善、収益DI値は-16.7ポイントで前月調査の-27.1ポイントから10.4ポイント改善、景況DI値は-27.1ポイントで前月調査の-33.3ポイントから6.2ポイントの改善となった。

非製造業	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ●初旬はゴールデンウィーク・瀬戸内国際芸術祭・スポーツイベント等、多彩な催しが広範囲に開催されていたので、家族連れや観光客の往来も多く見られ、欧米豪アジア諸国からのインバウンド客も多く商店街に訪れていた。中旬になると少し減少したように思ったが、最終週には国内ツアー客が目立つようになり、地元客も期待感が高まる6月を迎えるべく、いい雰囲気での5月であった。(高松市②) ●人の流れが悪い。人出がない分、売上も減少している。(丸亀市①) ●消費動向や世情など、「いい話」を耳にしない。商店街は相変わらず閑散としていて、どの店の売れ行きも、一部の飲食を除いて「悪い」というのが実態だと思う。各組合の3月決算を済ませての総会がおこなわれ、どこも組合員の廃業・減少の問題を抱えていて、将来展望が極めて厳しい現状にある。(丸亀市②) ●当地域を分類して考える時、JR線の南側(旧市街地から商業地)とその北側から国道11号線沿いの比較になるが、道路が整備され、少しずつでも新しい住宅が増え、人口が増加するJR北側に投資が増えるのは仕方ない事だと思う。北側では観音寺スマートICに伴う道路整備や「道の駅」建設、大型スーパーの旧市街地店の整理後のリニューアル出店計画、ホテルの新設や計画等、俯瞰して見れば、地域間競争に頑張っている。(観音寺市)
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ●瀬戸内国際芸術祭の影響もあり、昨年の5月より微増であった。しかし、労働単価が、人出の問題より、大きいため、業界は清掃などの省力化が進み出した。SDGsの推進により、連泊のお客様の清掃の簡略化を行う施設が増えてきている。今後業界の主流になる可能性が高い。しかし、それに反発する動きもある。宿泊施設の今後の業態として、ビジネスホテルは、ウィークリーの清掃になっていく可能性が高いかと推察される。(旅館) ●全国美容製造者協会2024年サロンユーザー調査発表によると1年間に美容室を利用した回数が10代で3.7回、20から30代では4.1回、40代は4.4回、50代は4.9回、60代は5.3回、70代では5.7回と、年代が上がるほど利用回数が増えている。メニューでは、各年齢通してカットが1番で、ヘアカラーが2番、シャンプーが3番で、パーマが各年齢とも低くてパーマ離れが顕著に出ている。(美容)
	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ●本格的な暑さを迎える前に、業種別熱中症対策に力を入れていく必要があるが、労働環境の改善や、ここ数年で空調服の普及率も上がっている事もあり、早い段階から十分な対策を講じているところが多い印象である。組合を通して、空調服の販売等も可能だが、各社ごとに準備を進めているようである。建設業における、熱中症の業種別発生状況は毎年全体の4割近くを占め一番多い。作業員個人の意識、行動だけでなく、会社、業界で取り組んでいく必要がある。(総合建設)
	運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年4月の輸送実績は対前年同月比で営業収入106%、輸送人員は111.7%と増加した。(タクシー) ●令和7年4月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は3.6%増となり、対前月比では2.2%減となった。また、4月分利用車両数の対前年同月比は5.3%増となった。(トラック) ●公益財団法人日本トラック協会が5月19日に発表のトラック運送業界の景況感(令和7年1月～令和7年3月期)によると、業界の景況感は、運送量は増加傾向にあるものの、燃料価格の高止まりや物価高による輸送原価の上昇分を十分転嫁できず、営業利益・経常利益が悪化傾向にあることから、景況感は前回▲18.2から▲18.7へ0.5ポイント悪化した。来期の見通しは、米関税政策がもたらす事業環境の不透明化や人材不足、物価上昇等を反映し、景況感は今回▲18.7から▲26.2へ7.5ポイント悪化する見込みである。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品	☀️	☁️	☁️
	繊維工業	☁️	☔️	☔️
	木材・木製品	☔️	☔️	☔️
	印刷	☔️	☔️	☔️
	窯業・土石製品	☀️	☁️	☁️
	鉄鋼・金属製品	☔️	☔️	☔️
	輸送用機器	☔️	☁️	☁️
	その他	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☀️	☀️	☁️
	小売業	☔️	☔️	☔️
	商店街	☔️	☁️	☔️
	サービス業	☀️	☁️	☁️
	建設業	☔️	☔️	☔️
	運輸業	☀️	☀️	☁️
	その他	☁️	☁️	☁️

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chuukai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリS・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED…Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実に向けたサポート強化

(お客さまライフステージ)



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

**株式会社商工組合中央金庫
高松支店**
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

地域経済の産業活動の維持・発展のために、事業の譲渡、株式の譲渡、合併などにより経済的または社会的に有用な事業や企業を承継・集約する中小企業者および事業を承継・集約される中小企業者の資金調達の円滑化を支援します。詳しくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○事業承継・集約・活性化支援資金の概要

ご利用いただける方	1 中期的な事業承継を計画し、現経営者が後継者(候補者を含みます。)と共に事業承継計画を策定している方 2 安定的な経営権の確保等により、事業の承継・集約を行う方および当該事業者から事業を承継・集約される方 3 中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律(経営承継円滑化法)第12条第1項第1号の規定に基づき認定を受けた中小企業者(同項第1号イに該当する方に限ります。)の代表者、同法第12条第1項第2号の規定に基づき認定を受けた個人である中小企業者または同法第12条第1項第3号の規定に基づき認定を受けた事業を営んでいない個人の方 4 事業承継に際して経営者個人保証の免除等を取引金融機関に申し入れたことを契機に取引金融機関からの資金調達に困難になっている方であって、公庫が融資に際して経営者個人保証を免除する方 5 事業の承継・集約を契機に、新たに第二創業(経営多角化・事業転換)または新たな取組みを図る方(第二創業後または新たな取組み後、おおむね5年以内の方を含みます。)	
お使いみち	「ご利用いただける方」の1に当てはまる方が、事業承継計画を実施するために必要な設備資金および運転資金 外	
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	7,200万円(うち運転資金4,800万円)
	中小企業事業	14億4千万円
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金	20年以内<うち据置期間5年以内>
	運転資金	10年以内<うち据置期間5年以内>
利率(年)	国民生活事業	基準利率、特別利率A、特別利率B
	中小企業事業	基準利率、特別利率①、特別利率②
担保	お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。	

〈支店窓口〉株式会社 日本政策金融公庫 高松支店
URL : <http://www.jfc.go.jp>
〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

かがわ DX フェア 2025

DXのヒントが見つかる！

会場 サンメッセ香川
小展示場・特別会議室

入場無料

香川県高松市林町2217-1 (アクセスマップ)

サンメッセ香川HP



2025.10.21 (火)
10:00-16:00

基調講演

展示ブース

DX事例や
支援策が分かる

講師選定中



出展者募集中！！

40ブース (予定)
※出展料無料

詳細は協議会HPからご確認ください
<https://www.kagawa-net.org/index.html>



協議会HP

主催：かがわ情報化推進協議会

共催 (予定)：香川マルチメディアビジネスフォーラム

後援 (予定)：香川県・総務省 四国総合通信局・
公益財団法人 かがわ産業支援財団

お問い合わせ先

事務局：香川県政策部 デジタル戦略課

TEL：087-832-3138



Facebook

歩行者ファーストかがわ 2025 参加者募集！

横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる時は、車両は横断歩道の手前で一時停止して歩行者の通行を妨げてはならないと道路交通法に定められています。しかし、2024年のJAFの調査では香川県の車両一時停止率は、41.9%で全国ワースト12位です。この現状を踏まえ、「歩行者ファーストかがわ2025」を実施し、横断歩道での歩行者優先ルールの遵守に取り組みます。

ぜひ、3人1組のチームで参加し、チーム全員が率先して「横断歩道は歩行者優先」のルールを遵守してください。実施期間中に無事故・無違反を達成されたチームの中から抽選で30万円分の旅行券などが当たります。

- 募集期間 7月1日～8月29日 ●実施期間 9月1日～12月31日 ●参加費 1チーム3,000円
- 啓発グッズ マイクロファイバークロス (参加者に配布)

問い合わせ先 県くらし安全安心課 TEL:087-832-3231

香川県 歩行者ファーストかがわ

検索

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	大阪・関西万博びあ	びあ	びあ/1,200円
2	大ピンチずかん 3	鈴木のりたけ	小学館/1,650円
3	カフネ	阿部暁子	講談社/1,870円
4	私が見た未来 完全版	たつき諒	飛鳥新社/1,200円
5	パズルと天気	伊坂幸太郎	PHP研究所/1,760円

香川県書店商業組合調べ